令和８年度　学校経営要綱

古賀中学校　校長　山崎　智之

１ 学校経営の基本構想

（１）学校経営の基本や基盤

ア　日本国憲法、教育基本法、学校教育法をはじめとする教育関係法規、子どもの権利条約、学習指導要領を基盤とし、福岡県教育施策実施計画及び古賀市教育大綱、古賀市教育行政の目標と主要課題に則り、生徒や保護者、地域及び学校の実態に即して教育を行う。

イ　中立性を確保し、公共性、公益性を目指して生徒の学習する権利を保障し、その実態を保護者や地域に公開することを原則とする。

ウ　福岡県人権教育啓発基本指針、学校教育における在日外国人の人権に関する指導上の指針、古賀市人権施策基本方針に基づいて人権教育を推進する。

（２）学校の教育目標

考動することができる生徒の育成　～ひと育つ・こが育つ学校～

・変化の激しい現代社会に柔軟に対応し、自ら考え考動し、自身の可能性を最大限に発揮するとともによりよい社会・地域を創り出そうとする力の育成

・古賀市が掲げる「チルドレンファースト」の具現化に向け、「ひとを育てる」・「子どもが育つ」学校づくり

ア　めざす生徒像

①　将来の夢や希望をもった生徒　**＜自主＞**

②　難しいことでも失敗を恐れず挑戦する生徒　**＜協同＞**

③　学校・地域をよくするために何をすべきかを考動する生徒　**＜創造＞**

イ　めざす学校像

①　「確かな学力」の実現に向け、生徒が思考し、協働する教育活動が展開される学校

②　「豊かな心」の実現に向け、受け身の姿勢から考動できる活動を通して社会を生き抜くための基礎となる学びを育む学校

③　「健やかな体」の実現に向け、心身ともに健康で安心安全な生活環境で学ぶことができる学校

ウ　めざす教職員像

①　誇りと情熱を持ち、人権を尊重し、生徒に愛情ある教師

②　積極的に自己研鑽に取り組み、時代の変化に対応できる教師

③　保者、地域と協働して、将来を担う人財を育む教師

④　生徒・保護者・地域から信頼ある日々の教育活動に臨む教師

（３）本年度の重点目標

互いを尊重し、粘り強く考動する生徒の育成

【重点目標を達成するための考動化された生徒と教職員の姿】

～生徒と教職員の行動化された姿をそろえることで互いのウェルビーイングを高め合うことができる～

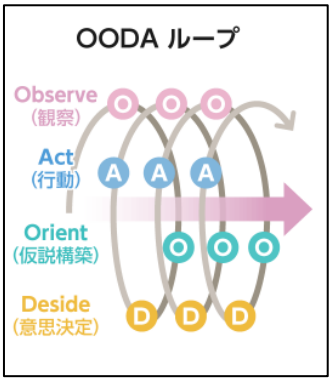
古賀中３つの愛

～認め愛・助け愛・高め愛～

○＜生　徒＞認め合い（認め愛）・・・多様性を重んじ、互いを認め合う生徒を育てる。
　＜教職員＞認め合い（認め愛）・・・互いのよさを認め、親和的な雰囲気を築く教職員となる。
○＜生　徒＞助け合い（助け愛）・・・自他を大切にし、相手の立場や状況を推し量って助け合う生徒を育てる。
　＜教職員＞助け合い（助け愛）・・・寛容の気持ちをもち、よりよい教育活動の実現に向け、共助に務める教職員となる。
○＜生　徒＞高め合い（高め愛）・・・互いのよさを褒め、不十分さを補い、違いを活かして高め合う生徒を育てる。
　＜教職員＞高め合い（高め愛）・・・互いを尊重し、それぞれの強みを活かして協働できる教職員となる。

（4） 教育課題・経営課題及び本年度の重点目標と経営の重点

教育課題	経営課題
○ 協働学習活動の充実 ○ 考動する生徒 ○ いじめ・不登校削減 ○ 人権感覚の醸成	○ 働き方改革の推進 ○ キャリアに応じた人材育成 ○ 教科部会の充実と授業改善 ○ 人権・特別支援教育の充実
重点目標	**経営の重点**
○ 生徒が思考し、協働による学力の向上 ○ 気づき考動する実践力の育成	○ 戦略マップの推進 ○ 研究の推進 ○ 各研修への積極的参加体制



・教育活動を「目的」「内容」「方法」の３つの要素の整合を図り、共有化

・ＯＯＤＡループを迅速に機能させた教育活動改善

２ 具体的方策

（１）経営の重点を具現化する方策

ア 働き方改革の推進

① 校務分掌…一人一役から適材適所（人材配置と配置数）、ＯＯＤＡループによる校務運営

②業務改善(超過勤務削減)…「学ぶ時間」の確保と「学ぶ意識」の醸成

（立ち話ミーティング、短時間校内研修〈プチけん〉、効果的な週案活用によるタスク管理）

イ 人材育成

①人材育成の充実…育成指標に応じた自己研鑽の奨励とキャリア間のマッチングによる 0JT

②校外研修会参加体制…基本研修、教育センター講座、研発、コアティーチャー授業参観

③校内研修の充実…授業改善、人権教育、特別支援教育、生徒指導、経営力

ウ 授業改善

①ＩＣＴ教育の推進…個別最適な学びを促し、多様な学びの機会として活用

②主題研究の推進…研究推進委員会を中核として推進し、研究構想に基づいた授業実践の日常化

③学びを主体とした授業…年１回の授業公開と授業後の授業整理会の充実及び教科部会の充実

④学びのスタイルの定着…古賀中学びのスタイルの定着化

エ 人権教育、特別支援教育の充実

①インクルーシブ社会の実現…古賀市副読本いのちのノート、支援センターとの連携

②地域連携…古賀中校区連絡協議会、地域との教育懇談会

③校内外研修の充実…人権教育研修会の充実（講師講話、海津木苑見学、外部施設連携）

オ 保護者・地域連携

①参観機会の充実…毎月１回の参観行事の設定と保護者アンケート

②地域交流…地域会（生徒）と地域との連携拡大（地域清掃、地域行事、寺子屋学習 等）

③保護者負担軽減…校納金の見直し改善、物品見直し改善、行政機関との連携、給食実施回数増

カ 教育環境整備

①安全点検…毎日の校内巡視、月１回の安全点検

②衛生委員会…毎月開催 産業医の指導助言を生かした教育環境の充実

③ 教育相談…定期的な教育相談、ＳＣ、ＳＳＷ、支援センター、市教育関係機関との連携強化

（2）教育の重点を具現化する方策

① 学力向上…学びのスタイル、生徒指導の機能を活かした授業規律、教科部会の充実、ＩＣＴ利活用

② 授業改善…各学力テストの分析、若年教師の授業力向上、

③ 家庭学習…家庭と連携した学力向上の取組の充実

④ 自尊感情の醸成…学校行事における学年目標の設定と生徒自己評価
（生徒会活動、善行表彰・校外ボランティア活動の機会充実）

⑤ いじめ・不登校削…いじめアンケートの確実な実施と迅速な対応
いじめ防止委員会の定期的な開催、ステップ適応指導教室の充実、あすなろ教室〈市適応指導室〉、スタンドアローン、SC・SSW・市子育て支援課等の外部機関との連携、年４回の教育相談の実施

⑥ 人権教育…人権が尊重される環境づくり、人間関係づく、人権が尊重される授業づくり
古賀市「いのちのノート」の活用、歴史学習、人権に関する知識理解、
人権感覚の涵養、外部講師講話

４ 学校経営構想図

